

映画「新・あつい壁」

差別と偏見の向こうに若者がみた真実とは

上映会&トーク



5 / 28 (木) 17:15 ~ 20:00
10号館1階講堂

主催: 上智大学社会正義研究所

協賛: 文学部新聞学科橋場義之研究室 / 毎日新聞社

問い合わせ先: 上智大学社会正義研究所

映画「新・あつい壁」 上映会&トーク

5 / 28 (木) 17:15 ~ 20:00 10号館1階講堂

- 無料(事前申込み不要)
- 講師 森元美代治さん(ハンセン病回復者)

作品紹介

この映画の題材は、ハンセン病故に殺人の嫌疑をかけられ死刑となった「F事件」。フリーライター野々村卓也が、たまたま取材で聞いた50年前の事件のことを契機として、ハンセン病問題に出会っていく物語。何も知らなかった卓也は、ハンセン病療養所の入所者たちとの出会いを通して、事件の不条理はもちろんのこと、過酷なハンセン病差別の現実が決して過去の問題ではなく、自分たちの問題であることに気づいていく。

間違った政策によって人権を奪われたハンセン病の歴史を改めて突きつけるとともに、映像では表現しづらい差別の心理構造を見事に描き出した中山節夫監督の作品。ジャーナリズムを学ぶ人をはじめ、人間の命、人権を真摯に見つめたい人にぜひ見て頂きたい。

監督:中山節夫

出演:趙珉和 安藤一生 左時枝 ほか

企画:映画「新・あつい壁」制作上映実行委員会

全国ハンセン病療養所入所者協議会

企画協力:神美知宏/志村 康

制作:中山映画株式會社

脚本:横田与志

脚本協力:大竹 章(全国ハンセン病療養所入所者協議会)

プロデューサー:佐々木裕二

実行委員長:坂本克明

配給:全国映画センター

<http://kumamoto.cool.ne.jp/nakayama2005827/eigacenter.html>